



【印象深かった具体的な内容】

- ①・身体的な痛みだけではなくスピリチュアルペインに寄り添うことを先生も気にかけてくださっていることにとっても嬉しく思いました。
 - ・在宅で行っている検査や治療について。
- ②・がんと癌の違い。
 - ・がんのメカニズム。
- ③・乳癌や前立腺癌の特徴やターミナルの方法。
 - ・場所(ガン)によっての症状などわかりやすかった。経過治療方法などわかりやすかった。
 - ・各がんの末期に出る症状、転移しやすい部位。
 - ・インターフェロンは効果なし。ガンの方の点滴は注意。
- ④・緩和ケアについて。
 - ・初期の本人への告知。がんWHOの緩和ケアの考え方。
 - ・オピオイドについて。
 - ・麻薬の使用で痛みが軽減できるということ。
 - ・早目に痛み止めを使う。飲み薬→貼薬→注射。
 - ・精神的なフォローの重要性について。医療と介護の連携の重要性。

- ・最初の2週間の環境整備が重要。
- ・何となく全体的に浅く理解してたような気がしてましたが、ポイントで理解が深まりました。

「講座をとおして新たに認識した事柄」

在宅療養開始時の環境整備の重要性

- ・介入2週間の環境整備が重要。

医療と介護の連携

- ・ケアマネジャーとしての役割。医療とどのように連携していくか？また連携の大切さ。
- ・医療と介護の連携。
- ・地域、医療、福祉の連携で在宅の生活を支援していきたい。
- ・訪問診療(おんが病院における)CMとの連携。

がんについて

- ・それぞれのがんについてのことが分かりやすくて良かった。
- ・各がんの特徴。担当するDrによって対応、処方が異なってくる可能性がある。
- ・がんと癌について。

がん治療の特徴

- ・がんの治療の良い所やそうでもない所。自分ががんになった時のことも考えることができそうです。
- ・薬、人工呼吸器、点滴など状態に合わせていろいろな種類があること。
- ・薬や治療方法について。
- ・治療薬の種類や使用方法。

緩和ケアについて

- ・現在の緩和ケアの考え方。
- ・緩和ケアについて。
- ・緩和ケアの考え方。
- ・がん治療が始まったと同時に緩和ケアも始める事が大切だという事。
- ・ターミナルな状態の人に全人的苦痛を取り除くことの難しさ。
- ・呼吸困難の方への対処法、モルヒネの事。
- ・点滴治療が必ずしも有効ではないこと。
- ・がんの痛みが90%近く緩和できること。
- ・利用者様とのかかわりをする場合でも痛み苦痛経過を理解しケアすることの大切さを知りました。
痛みを取りながら最期をむかえる大切さ。
- ・在宅での看取りも可能であること。

看取りができること。ケアマネの役割。

- ・看取りについて。最後に言われたケアマネの役割(環境整備)の重要性を再認識できた(一番身近な存在として)。

その他

- ・がん検診の必要性。
- ・まだまだ勉強不足と思いました。

「講義を聞いてケアマネジャーとして今後を活かしたいこと」

医療と介護の連携の深まり。

- ・医療と介護の架け橋となり安心した生活がご自宅で実現できるよう取り組んでいきたいと思います。
- ・医療の方と連携を図るために顔の見える関係づくりを積極的に行っていきたい。
- ・かかりつけ医と連携をとっていききたいと思います。
- ・医療と介護の連携が重要視されている現在において、特にがん末期の方についてはケアマネからDrへ、Drからケアマネへの情報提供、連携を密にすることでその方のQOLの向上に大きく影響すると実感した。

今後も医療との連携を密にし利用者家族のためにがんばりたいと思う。

- ・看取りの場合、Drと連携をはかって利用者、家族の意向を大切にしていきたい。
- ・医療との連携。
- ・在宅の看取りの希望があった場合は、Dr,他の職種も連携を図り対応がしたい。

訪問診療導入へのかかわり

- ・訪問診療の希望があった場合はまず相談し検討していきたいと思います。
- ・医療との関係を深めていく。
- ・利用者の普段の状況をよく把握し、主治医につなげたいと思いました。
- ・おんが病院、おかがき病院との連携。環境整備。

全人的苦痛へのかかわり

- ・全人的苦痛を考慮しご本人に寄り添う。

進行に応じたスピーディーな支援。寄り添い。

- ・先生が後半で話された「環境整備をすること」は大変共感できるもので、その人に寄り添うために大変必要と思われるので活かしていきたいと思います。
- ・がんの進行に応じた環境整備や利用について提案できる。予測が立てられるようにしたい。
- ・スピードが大切、一番と思います。

看取り期の点滴の考え方

- ・弱っている時の点滴は良くない。命を縮める。

ターミナルの方との積極的関わり

- ・ターミナルの人とのかかわりを積極的に行っていきたい。
- ・ターミナルの利用者様も積極的に受け持ちたい。

在宅支援に役立てる

- ・在宅での支援に役立てていきたい。
- ・少しでも在宅で残りを過ごしたいという方に対し、後悔のない様手助けができたらと思いました。
- ・利用者、家族、そして自分のまわりの方々のことも含め考えて行けそうです。
- ・先生からうかがった内容。

・予後予測。

- ・医療的な知識が未熟なので恐れずに学んでいきたい。

「要望、その他意見」

- ・今後も研修を開いてもらいたい。